

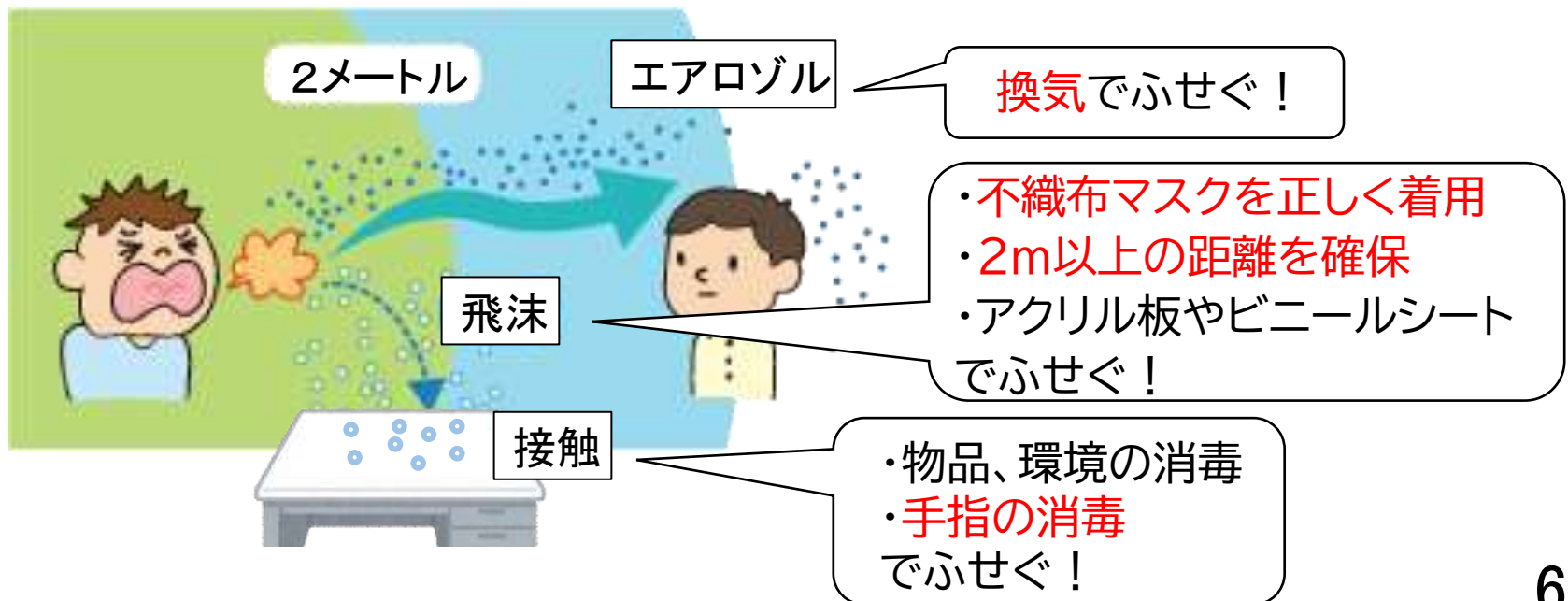
基本的な感染防止策の継続

奈良県では、**感染防止と社会・経済活動とを両立**させ、日常生活の維持を目指していきたいと考えています。

これから大型連休に入り、様々な活動が活発になりますので、「うつらない・うつさない」ための以下のご注意をお願いします。

①マスク、②換気、③消毒、④距離

これらの対策で、3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)を遮断しましょう



感染防止と社会・経済活動との両立①

リスクの高い場所では、特に注意

ふだん一緒に生活していない人が集う環境で、マスクを外しての大声での会話や長時間同席など、**3つの感染経路が全て高まるような状況では、特に注意**しましょう

しゃべる時は
マスクをずらさない



外で近距離での飲食は、
顔が対面にならないように



同僚や友人と飲食するときは、
マスクを外しての会話をしない



喫煙時には、マスクを
外しての会話をしない



職場で歯磨きするときは
混雑を避け、会話しない



ふだん同居しているメンバー以外と
車に乗るときは、マスクと換気をする



感染防止と社会・経済活動との両立②

飲食・会食にあたっては

- ・きちんと**感染対策**をしている店舗を利用しましょう
- ・飲食時もマスクを外した会話は控えましょう
- ・多人数・長時間は避け、大声での会話は控えましょう



連休中の移動にあたっては

これまでの感染状況を分析すると、奈良県の感染動向は、大阪府との同期性が強い状況です。買い物や食事、レジャーなど、**大阪へお出かけの際には、十分ご用心ください。**

- ・感染防止策(①マスク、②換気、③消毒、④距離)を徹底し、リスクを下げましょう
- ・リスクの高い場所への立ち入りには気をつけましょう
- ・**ふだん同居していないメンバーとの活動は、交通機関や車による移動でも注意しましょう**

若い世代での感染防止対策

第6波では、10代以下が感染の主役である傾向がみられます。学校、保育施設、家庭における感染防止対応の継続が求められます。

感染防止と社会・経済活動との両立③

リスクの低い場所では、多少リラックスして、
できるだけ日常生活を維持

(例)・一人でいる時にはマスクを外す。

一人で車を運転している時はマスクは不要

・同居家族内では過度な感染対策は不要

(かぜ症状のある時を除く)

・外で距離が取れる場合はマスクを外す

・誰も触っていなければ消毒は不要

